



きなぎっせ

九州中央病院広報誌「第100号」2024年1月

□地域医療支援病院 □地域がん診療連携拠点病院 □臨床研修指定病院 □日本医療機能評価機構認定病院
〒815-8588 福岡市南区塩原三丁目23番1号 TEL 092-541-4936(代) FAX 092-541-4540



「太宰府天満宮仮殿」（福岡県太宰府市） 提供：太宰府天満宮

基本理念 病んでいる人の人権を尊重し、健やかで心豊かな社会をつくるための医療を提供します。

基本方針	Progressivity	常に向上心を持ち、何事にも積極的に前向きに対処する
	Hospitality	医療を受ける方々の立場に立った、満足の得られる医療を行う
	Superiority	質の高い、高度な医療を目指す
	Rationality	合理的で無駄のない医療および医療経営を行う

目次

新年のご挨拶	2	登録医紹介	15
婦人科からのお知らせ	3	サービス向上委員会からのお知らせ	15
Medical Information	4	南警察署からのお知らせ	15
100号記念特集	8	地域連携Webセミナーのお知らせ	16
消火避難訓練	12	だれでも健康講座	16
放射線治療について	14	編集後記	16

令和6年 新年のご挨拶

公立学校共済組合九州中央病院
病院長 前原 喜彦

新年明けましておめでとうございます。

病院長を務めております前原喜彦と申します。

地域の皆様には目頃より当院をご利用いただき、また連携診療施設の皆様には患者さんの御紹介や後方支援、救急搬送などにご協力いただき、心より感謝申し上げます。

令和2年初めより猛威を振るってきた新型コロナウイルスは、やっと落ち着いてきているようにも見えますが、皆様には今後も気を緩めることなく、感染予防の基本である規則正しい生活を送っていただきたいと願っています。当院としましても、これからも社会や国民の皆様からの要請に応えるべく、感染症医療に誠心誠意努力してまいります。

さて、当院は受診される皆様方に、安心、確実な医療を提供すべく、病院環境の整備や高額医療機器の更新とともに、診療科の充実、各部署の人員の充実に力を入れてまいりました。昨年12月には、最新式の手術支援ロボットDaVinci Xi (ダビンチ Xi) を導入し、本年3月から、泌尿器科、外科、婦人科の手術において稼働させる計画です。皆様への、さらなる質の高い医療の提供につながるものと期待しています。

地域の皆様が来院される外来棟は、平成5年の竣工で、現在は、診療のやり方や医療機器類も進化を遂げ、患者さんの動線も不便なものになっていると認識しています。そこで、外来診療を続けながら外来棟の大幅改修工事を行う予定でしたが、万博建設等で資材や人件費が高騰し、計画は延期することといたしました。皆様にはご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

福岡市南区を中心とした地域の連携診療施設の皆様には、「地域連携Web疾患セミナー」と「地域連携Web患者セミナー」を配信し、積極的な連携活動、情報伝達活動を行っています。そのセミナーも令和2年9月に開始して以来、昨年末で115回を数え、様々な職種の方に視聴いただき、日々の診療のお役に立てていただいております。

当院は「地域医療支援病院」に認定されていますので、受診される患者さん、家族の方々や地域の皆様方に、日々の健康を保つコツや最新の医療情報を解かりやすくお伝えするのも務めであると考えております。そこで、一昨年11月からは、オンラインで「だれでも健康講座」を始め、昨年末で5回を数えます。当院のホームページ上から視聴できますので、お気軽にご覧ください。

当院は職域病院の務めとして、公立学校教職員の健康診断やメンタル面での支援を行っています。人間ドックをはじめとした健康診断は、教職員に限らず地域住民の皆様も利用可能ですので、お気軽にお問合せ、ご相談ください。

最後に、本年も地域住民の皆様をはじめ、公立学校共済組合員、地域の連携診療施設の皆様のご期待に応えられるよう努力してまいります。これからもご指導、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

本年の干支は「きのえたつ甲辰」となります。成功という芽が成長して、姿を整えていく年と言われております。皆様にとって幸多き年でありますように。

令和6年1月



自分が接種対象なのに、そもそも「HPV ワクチン知らない」人が 28%もいるなんて・ HPV ワクチンの効果について、改めてお伝えします！

婦人科部長 衛藤 貴子

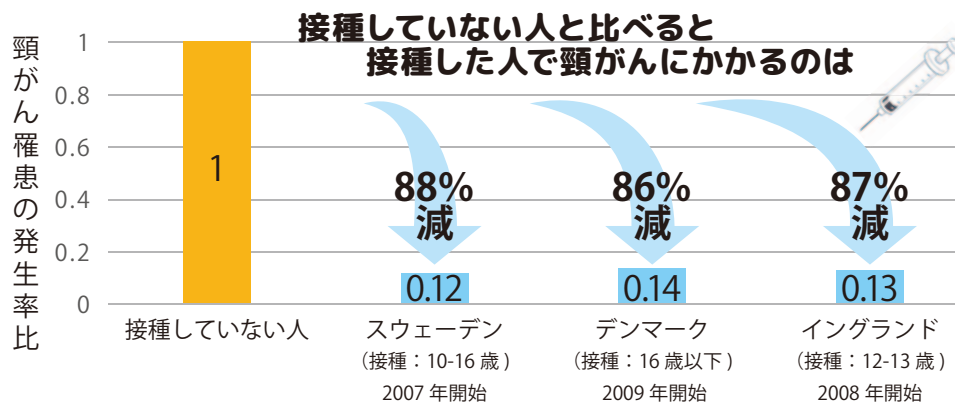
厚生労働省が昨年1-2月にHPV(ヒトパピローマウイルス) ワクチンについてのアンケート調査を行いました。対象は、HPV ワクチン接種対象者(小6~25歳)と保護者(子が小6~高3相当)です。「HPV ワクチン知らない・聞いたことがない」が、接種対象者の28%、保護者の9%もいました。接種したいと考えている人は「ワクチンは有効だと思う」「子宮頸がんはこわい」、接種したくないと考えている人は「安全ではない」「判断する情報がない」「友人がうけていない」などと思っているようでした。(001126460.pdf (mhlw.go.jp))

“きなざっせ”の連載の中の、子宮頸がんのなりたちと予防の方法(第94号)、ワクチンの安全性(第97号)など参考にさせていただきたいのですが、はじめの頃にお知らせしました「ワクチンの非常に高い効果」について、お忘れになっているかもしれませんので、再度お知らせします。



“きなざっせ”バックナンバー

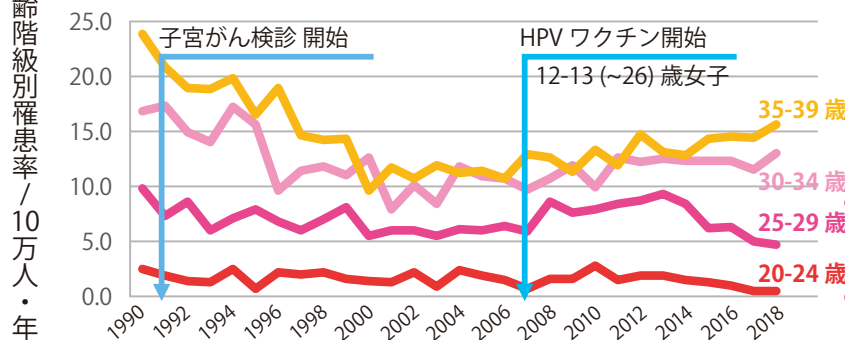
HPV ワクチン接種開始して 10 年以上たった国から頸がん減少の報告



出典 スウェーデン: Lei J et al. NEJM 2020; 383(14):1340-1348.
デンマーク: Kjaer SK et al. J Natl Cancer Inst. 2021; 113(10): 1329-1335.
イングランド: Falcaro M et al. Lancet. 2021 ;398(10316):2084-2092.

頸がんがなくなることに最も近づいているオーストラリアのデータから

5 歳毎の年齢別の 頸がん罹患率の 年次推移



オーストラリアでは、ワクチンも検診も受診を促すシステムができており、接種率、検診受診率ともに80%を超えています。ちなみに、現在は男子も公費で接種しています。

2015年あたりから、ワクチン接種世代の20代の罹患率が減ってきていますね。

出典: Cancer Data - Australian Institute of Health and Welfare (aihw.gov.au)

HPV ワクチンをうちそびれた世代のキャッチアップ接種は来年度までです

定期接種は 小6~高1相当女子

キャッチアップ接種は 1997~2006年度生まれの女子

3回接種が基本ですが、14歳までの女子は9価ワクチン2回接種でよいです

お問い合わせは婦人科外来まで (病院代表) 092-541-4936



メンタル不調を防ぐために

メンタルヘルスセンター長、心療内科部長 河田 浩

はじめに

新しい年を迎え、新型コロナウイルス感染症の出現から4年が経ちました。5類感染症に移行したとはいえ、いまだ気を許せない状況です。景気はなかなか回復せず、物価高に賃金上昇が追い付かぬ厳しい状態が続いています。皆様におかれましては新しい生活様式、価値観が加わったことかと思えます。自分では健康に問題はないと思っていても、いつの間にかメンタルヘルス不調(精神障害や自殺企図に至らずとも、ストレスや強い悩み、不安など、心身の健康、社会生活および生活の質に影響を与える可能性のある精神的および行動上の問題を幅広く含むもの)をきたしているかもしれません。一旦メンタル不調に陥ると、生産性が著しく低下し、復調するまでに長い期間が必要になります。例えばメンタル不調を理由とした休職の平均期間は約3.5ヶ月といわれています。予防がとても大切です。

セルフケア



メンタル不調を未然に防ぐためには、

- ①自分自身がストレスに気づき、
- ②これに対処することが基本となります。日頃から自身のストレス状況に目を向け、メンタル不調の症状(図1参照)に当てはまるものがあれば、対策を行うことが大切です。

休養の必要性



昨年、投手に指名打者に大活躍したロサンゼルスエンゼルスの大谷翔平選手は、野球へのコンディション管理を問われた際、「一番は睡眠」と、寝ることへのこだわりを語りました。「睡眠時間が、1時間増えるだけで、起きている時間のクオリティーが上がる」

とのことでした。睡眠をとらないと、脳の休息が取れず、仕事のパフォーマンス低下、感情のコントロールが困難になります。睡眠は体の疲れを取るだけでなく、免疫力を保つ、脳の疲労を回復する等重要な役割があります。毎日同じ時刻に起床する、なるべく午前中に日光浴する、夜間の明るい光は避ける、昼寝は30分以内が推奨されます(日本うつ病学会公式サイトより)。睡眠と併せて、食欲がない時や忙しい時でも、同じ時刻に食事する、よく噛んでよく味わって食べる、また定期的に運動することもメンタル不調を予防します。2019年4月、厚生労働省から有給休暇5日取得の義務化が発表されました。堂々と有休を使って休むのも良い対処だと思います。

ストレスコーピング



人間が生きていく上で、ストレスがゼロになることはまずありません。故にコーピング(ストレス対処行動、休息や気晴らし)を用いることになります。コーピングのポイントとしては、レパートリーを多く、質より量で対処することです。各場面に応じてコーピングを変える(疲弊しているなら癒し系、気持ちか抑圧されているなら発散系のコーピング)ことで、様々なストレスに対して各々の対処ができる、ストレスへの柔軟性が増すことになります。注意点としては、効果とコストのバランス(過食やアルコール依存、買物依存、ギャンブル依存等にエスカレートしていないか)、頑張るってやること≠コーピングであり、自分が心地よいこと、肯定的なイベントを増やすことがコーピングになります。深呼吸する、瞑想する、近所の公園を散歩するだけでも脳や身体をリフレッシュになります。

メンタル不調の症状

こころのサイン

- ・不安や緊張が高まって、イライラしたり怒りっぽくなる
- ・ちょっとしたことで驚いたり、急に泣き出したりする
- ・ゆううつな気持ちが続き、やる気がなくなる
- ・人づきあいが面倒になって避けるようになる



身体のサイン

- ・夜、眠れない、寝てもすぐ目が覚めてしまう
- ・体調不良を訴える(動悸、過呼吸、めまい、頭痛、嘔気、便通異常、微熱)
- ・気力がなく、簡単な作業でも疲れてしまう



行動のサイン

- ・表情や見た目に元気がない
- ・遅刻・早退、欠勤が増える
- ・家事や仕事など、今まで当たり前に行っていたことができなくなる
- ・職務パフォーマンスが低下している
- ・仕事のミスが増える
- ・被害的、攻撃的になる
- ・身だしなみに無頓着になる
- ・依存症(アルコール、ギャンブル、買物、ネット、性)



図 1

ユーモアで乗り切る



ストレスを跳ね返す力=レジリエンスを高める方法に、ユーモア(些細なことに“おかしみ”を感じる、日常から幸せや楽しみを見つける)のセンスを身につけることで認知の柔軟性を獲得するというものがあります。また適切な支援を受ける(自分一人で抱え込まずに適切に相談、援助希求する)こともレジリエンスを高めます。“助けられ上手”になるということです。

最後に

当院メンタルヘルスセンター・心療内科は職域病院として、教職員の方のメンタルヘルスを支援する役割も担っています。その他、緩和ケアチームとしてがん患者さんやその家族に対する支援を行っています。もし自分自身、またはあなたの大事な人がメンタル不調対処に困難を感じる時は、ぜひ当科にご相談ください。

Medical Information. II

がんに対する体にやさしい手術 (腹腔鏡手術・ロボット手術) について

消化器外科部長 大垣 吉平

はじめに

日本人が一生のうちに何らかのがんと診断される確率は、男性で 65.5%、女性で 51.2%とほぼ 2 人に 1 人に増えてきています (がん統計 2023)。がん と診断される患者さんの数が多いのは、全体では ①大腸がん、②肺がん、③胃がんの順であり、男性では①前立腺がん、②大腸がん、③胃がん、女性では①乳がん、②大腸がん、③肺がんの順になっています。早期発見のための検診が広く行われるようになり、また新たな治療方法や薬剤 (抗がん剤やホルモン剤) の開発も行われており、がんの治療成績は年々良くなってきています。胃がんや大腸がんなどに対する外科手術においても、傷の大きな開腹手術から、からだにやさしい傷の小さな腹腔鏡手術が行われるようになってきました。

腹腔鏡手術について

私が医師になった 20 年ほど前は、がんの手術は開腹手術が主流でした。胃がんの手術であれば、みぞおちから臍までおなかを大きく切り開いて行っていました。腹腔鏡手術では図に示すように、5 か所の小さな傷からポートと呼ばれる器具を挿入し、腹腔内に二酸化炭素を送りこみお腹を膨らませ、臍

部のポートからカメラを入れお腹のなかを映し出し、その他のポートから鉗子と呼ばれる棒状の器具を入れて、モニター画面を見ながら手術を行います。最近ではデジタルハイビジョンや 4K カメラにより、さらに解像度の高い映像となり、開腹手術では見えないような細かい血管や神経を確認できるようになりました。細かい操作で緻密な手術を進めることができます。手術中の出血量も少なくすることができます。切り取った胃は、臍の傷を 4-5 cm に広げて取り出します。

手術後の傷ですが、開腹手術であればみぞおちから臍まで大きな傷となりますが、腹腔鏡手術では傷が小さいため痛みも軽く、整容性にもすぐれています。



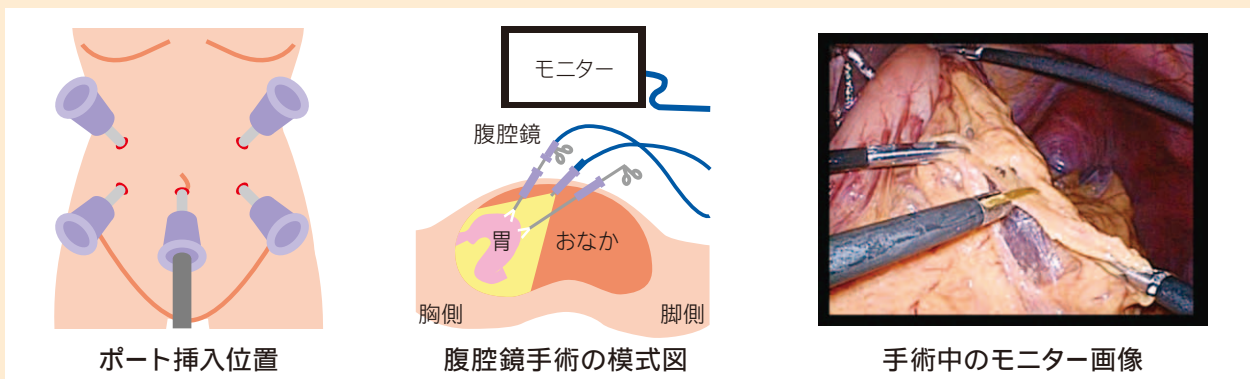
開腹手術

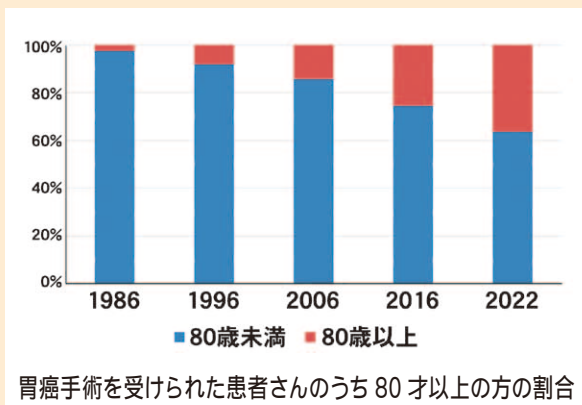


腹腔鏡手術

高齢者にもやさしい手術

平均寿命や健康寿命の延長に伴って、高齢者の方





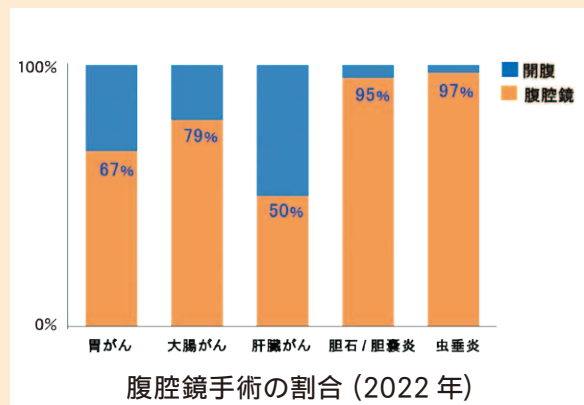
に手術を行うことも増えてきました。グラフは、当院で胃癌手術を受けられた患者さんのうち 80 才以上の方の割合を、10 年刻みに示したものです。40 年前には 80 才以上の方に胃癌手術を行うことは非常にまれでしたが、この割合は徐々に増加し、昨年では約 35%、つまり 3 人に 1 人が 80 才以上の患者さんでした。

基礎体力が低下した高齢者の方には、傷が小さく、負担の軽い腹腔鏡手術はメリットが大きいと考えています。当院では腹部手術全般において積極的に腹腔鏡手術を行っています。

ただし、お腹を開けての手術の方が安全と判断した場合は開腹手術で行っています。

今後の展望：腹腔鏡手術からロボット手術へ

さらに最近では手術用ロボットを導入する施設も増えてきています。ロボット手術といってもロボットが自動的に手術を行うわけではありません。手術を行う外科医は患者さんから少し離れたコンソールと呼ばれる操作ボックスの中に座って手術を行います。腹腔鏡と同じようにいくつかのポートをお腹に入れ、そこからカメラとロボットの手にあたる器具（ロボットアーム）が、お腹の中に入ります。コンソールで外科医がモニター画像を見ながらアームを操縦して手術を進めていきます。モニター画像は 3D で立体感のある解像度の高い映像であり、患者さんの体内



に両手を入れているような感覚での手術となります。腹腔鏡手術には無かった多関節機能や手ぶれ防止機能などが搭載されており、より細かく精密な手術が行えるため、さらにはからだにやさしい手術として期待されています。

当院でも 2023 年度中に内視鏡手術支援ロボットダビンチ Xi を導入し、泌尿器科、外科、婦人科領域を中心にロボット手術を行っていく予定です。



内視鏡手術支援ロボット ダビンチ Xi

さいごに

当院では地域みなさんによりよい治療をご提供できるように努めております。外科手術においても、最新機器を用いて、からだにやさしい安全な手術を受けて頂けるように精進を続けて参ります。お困りのことやご相談がございましたらお気軽にお問い合わせください。



九州中央病院の 益々の発展を祈って

名誉院長 杉町 圭蔵

九州中央病院の広報誌「きなざっせ」創刊 100号おめでとうございます。

昨今の九州中央病院は、1年間で外来患者 16万人余り、救急車 5600台、手術 4100例、紹介率 82%、逆紹介率 91%と地域住民に信頼され、益々発展していることを大変嬉しく思っています。

私は平成 2002 年 3 月に九州大学を停年退官し、4 月に九州中央病院に赴任しました。実は、1998 年に公立学校共済組合の理事長さんとシーホークホテルで会食し「赤字続きで、存亡の危機にある九州中央病院を立て直してもらいたい。」という依頼を受けました。しかし、その時は、九大医学部長在任中で秋吉毅先生に 4 年間病院長をお願いし、4 年後に私が引き継ぐ約束をしました。

4 年後、九州中央病院に赴任してみると、協調性がなく、利己的で仕事ができない医師が多いのに驚きました。早速、「こんな勤務医はいらない」(表) という掲示を医局に貼り出したところ、医師たちは驚き、緊張感が漲りました。

こんな勤務医はいらない

- (1) 人間としての基本的マナーが欠落し、謙虚でない医師
- (2) 患者に対して誠実ではなく、協調性の欠ける医師
- (3) 専門的な知識、技術が不足しており、向上意欲の乏しい医師
- (4) 経営改善に貢献しない、利己的な医師

(平成 14 年 7 月 九州中央病院医局に掲示)

(表) 「こんな勤務医はいらない」

一方、九州中央病院は労働組合の天国で、病院の二階の一部屋を病院の職員ではない 2 人の労働組合専従者が、組合の活動拠点として占拠し

ていました。

午前中の外来が忙しい時間帯に、病棟の看護師に外来の応援をお願いしたところ、労働組合はストをして反対してきました。

労働組合対策が、経営改善の第一歩で、喫緊の課題であることは判っていましたが、日教組系の労働組合には本部も手を出すことが出来ず、缶詰状態で深夜まで続く団体交渉は年中行事でした。

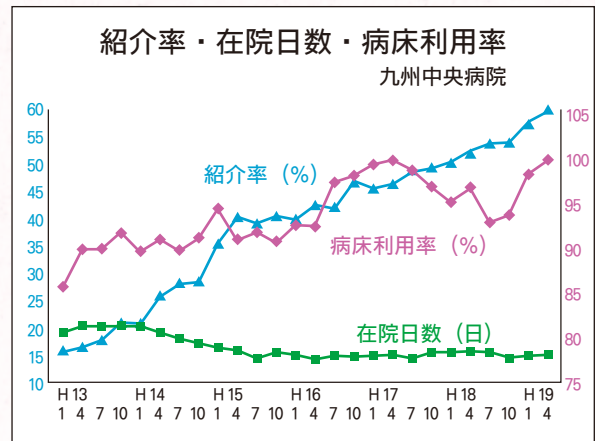
ある日、給与掛が、労働組合費を給料から毎月天引きして、組合にまとめて渡していることを知り、即刻、組合費の天引きを禁じ、「組合員は、給料から自分で組合費を組合に毎月払う。」ようにしたところ、組合員は激減しました。組織率が 50% を割ったところで、開院以来 50 余年にわたり締結していた膨大な労働協約を全て一気に破棄しました。これには労働組合も驚いたようですが、組織率は 5% 以下となり労働組合は消滅しました。組合の専従者はいつの間にか居なくなり、組合が占拠していた部屋を取り戻すことができました。

また同時に、乳腺外科、口腔外科、呼吸器内科、リウマチ科、心療内科、耳鼻咽喉科、救急部などを新設し、さらに、DPC への移行、7 対 1 看護、電子カルテ導入、地域医療支援病院認定など病院改革に取り組んだところ、私が在院した 8 年間で、紹介率は 15% ⇒ 85%、病床稼働率 80% ⇒ 95% (図 1)、救急車 500 台/年 ⇒ 3500 台/年、手術件数 1712 件 ⇒ 2892 件 (図 2)、医業収益 59 億円/年 ⇒ 85 億円/年となり、昭和 32 年の病院創設以来、50 年間の長い眠りから目覚めて病院は黒字になりました。

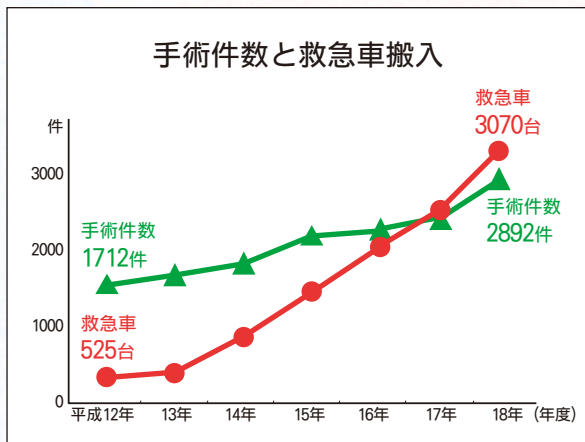
一方、がんの診療では、医師は患者に詳細な情報を提供し、患者の自己決定権を重視した医療を行い、患者や家族が納得して、治療を受ける

ことが大切です。アメリカでは、セカンドオピニオン相談はすでに始まっていたようですが、私は2002年におそらく日本で最初の無料セカンドオピニオン相談を始めました。現在もおんが病院で続けており、これまでに全国(図3)から2000名余りの方が相談に来られました。

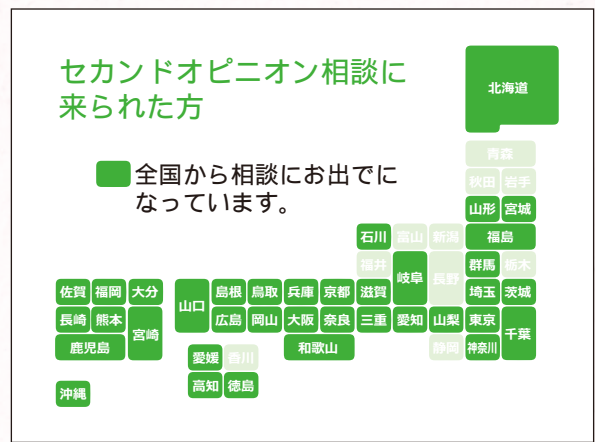
最後になりましたが、66年の歴史を有する九州中央病院が、これからも質の高い医療を地域住民に提供し、益々発展することを祈っています。



(図1) 紹介率・在院日数・病床利用率

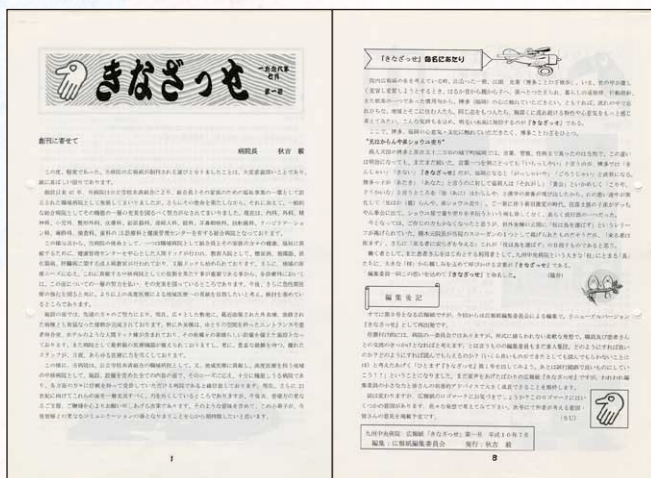


(図2) 手術件数と救急車搬入



(図3) セカンドオピニオン相談

きなざっせへりてーじ



創刊表紙

8P

今となつては、ご存じの方も少なくなったと思うが、旧外来棟の玄関に「枝は鳥を選ばず」というレリーフが掲げられていた。勝木元院長が当院のスローガンの1つとして掲げられたものだそうだが、「来る者は拒まず」、さらに「来る者に安らぎを与える」これが「枝は鳥を選ばず」の目指すものであると思う。

働くものとして、また患者さんをはじめとする利用者として、九州中央病院という大きな「枝」にとまる「鳥」たちに、大きな「枝」から親しみを込めて呼びかける言葉が『きなざっせ』である。

編集員一同この思いを込めて『きなざっせ』と命名した。

(『きなざっせ』命名にあたりから抜粋。原文まま。)



九州中央病院 病院長在任中の回想

名誉院長 飯田 三雄

このたび九州中央病院広報誌「きなざっせ」が100号の発刊を迎えるとのこと、誠におめでとうございます。今回広報委員会より寄稿文の執筆依頼がありましたので、本稿では私の病院長時代の思い出について簡単に述べてみたいと思います。

私は平成22年4月から平成30年3月まで病院長として勤務しました。院長就任時、築28年の病棟は老朽化・狭隘^{きょうあい}(1)化が著しく建て替えが必要な時期に達しており、病院再開発計画を早急に完遂^{かんすい}(2)することが私に課せられた使命と考えられました。平成22年から25年にかけてのICU・HCUの整備に続き、平成27年1月には念願だった全室個室の新病棟を完成することができました。病棟の全個室化は当時の公的医療機関では全国的にもあまり例がない斬新な試みであり、「患者さんと職員にやさしい病院を目指す」という当院のコンセプトにも合致するものでした。新病棟への移転後、それまで頻繁^{ひんぱん}に発生していたインフルエンザとノロウイルスによる院内感染が皆無になったことでもその効果が実感されました。引き続いて同年8月には新栄養管理棟、平成28年10月には腎・健康管理センター棟、平成30年5月には緩和ケア病棟が完成し、一連の病院再開発計画は無事終了しました。

私は院長就任後直ちに中長期目標として、

- (1) 地域医療支援病院として課せられた役割を果たす、
- (2) 職域病院として組合員のニーズに合った健康管理事業を実施する、
- (3) 長期的に安定した経営を維持する、
- (4) ゆとりを持って働ける職場環境を作る、
- (5) 臨床教育病院としての体制を整備する、
- (6) 病院の特徴を明確にし、ブランド化を図る、

の6項目を掲げ、病院の活性化に尽力いたしました。厚労省の定める5疾病5事業のうち「がん診療」と「救急医療」を柱とした急性期医療を展開し、平均在院日数の短縮や紹介率・逆紹介率の向上に努めました。それに伴い救急車搬送件数と手術件数も増加し、比較的良好な経営状態を維持することができました。また平成23年から導入した「ゆとりプロジェクト」の一環として職員相談室と院内託児所が設置され、それまで全国平均を超えていた看護師の離職率は大幅に改善しました。これら6項目の目標は私の在任中のみならず、現院長にもしっかりと受け継がれ今日に至っています。

当院の究極的な目標は、地域住民と共済組合員の双方にとって役立つ病院であると同時に、地域の医療機関から信頼される病院、さらに病院職員にとって働きやすい病院となることであります。その達成に向けて今後とも職員一丸となって尽力されることを期待しています。

(1) 狭隘^{きょうあい} 場所や心にゆとりがなく、せまくなること。

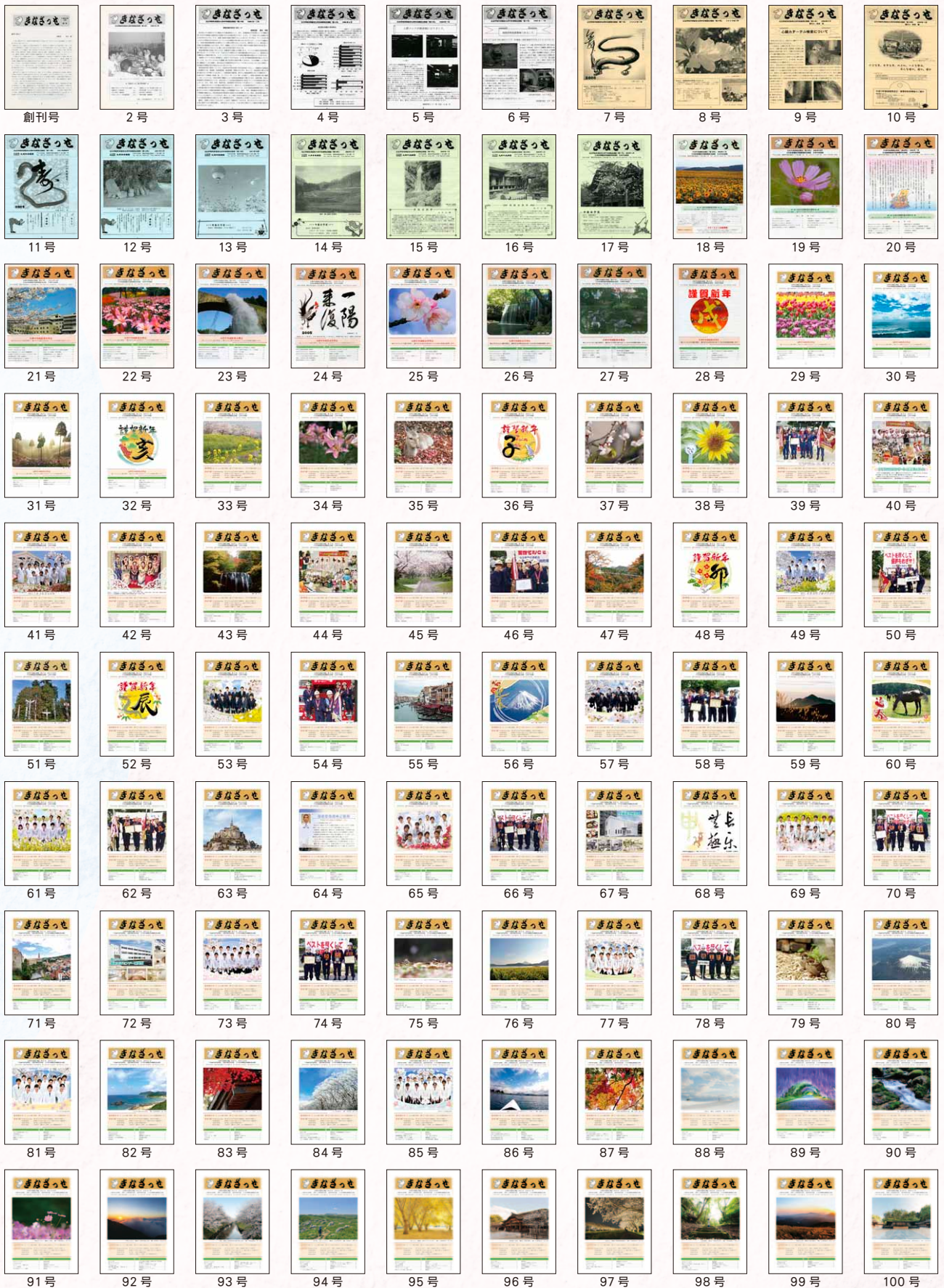
(2) 完遂^{かんすい} 完全になしとげること。

(学研現代新国語辞典改訂第六版)



腎センター・健康管理センター棟

きなぎっせノスタルジア



消火避難訓練を実施しました



日 時：令和5年11月15日(水曜日) 14時00分～15時00分

訓練部署：三病棟、四病棟、防災センター

参加機関：福岡市南消防署、福岡市南消防団、九州中央病院自衛消防隊(職員)

夜10時に三病棟デイルームで火災が発生するという想定で、感知器が作動したところから訓練を開始しました。

初動



1. 感知器作動の放送を聞いて職員が集まり、火災発見時にやるべきことを記載した役割別アクションカードに従い行動開始!
2. 火災発見!「三病棟デイルームの電子レンジから出火しています!」。続けて防災センターに通報。
3. 消火器での消火。しかし、火の勢いは衰えず。
4. 続いて、散水栓での消火活動開始!
5. 初期消火と並行して、避難誘導担当による避難準備。

階段避難

1～3. 歩けない患者さんは、担架(エアーストレッチャー)で避難。



はしご車



1



2

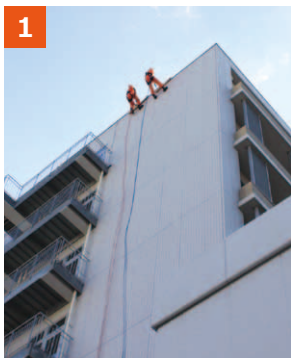


3

1. はしご車からの高所放水。

2～3. 建物屋上に患者さんが取り残されていたため、はしご車による救助活動。

懸垂降下



1



2



3



4



5

1～4. 機動救助隊による病棟（地上8階建て）屋上からの懸垂降下演習。

5. 大きな声援は見学に来ていた近隣保育園の子供たち。この日一番の歓声が沸き起こりました！

講評

最後に、南消防署長及び当院病院長より講評を頂きました。



火災などの災害に対して、安心できる療養環境、安心して働ける職場環境となるよう、このような訓練を定期的実施してまいります。

(企画課)

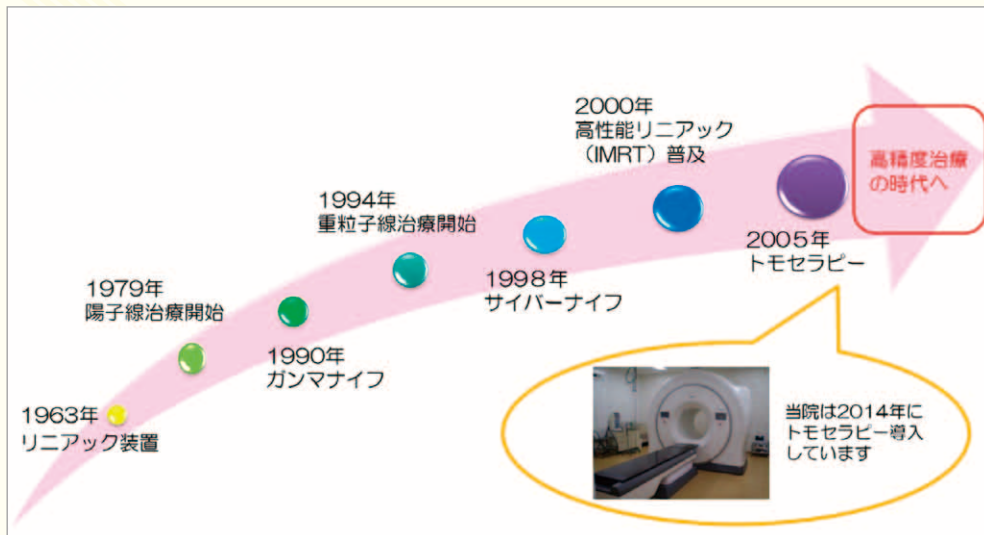
放射線治療について

がん放射線療法看護認定看護師 井上 昌子

放射線治療は、手術療法や薬物療法と並んで「がん治療の3本柱」と呼ばれています。局所に放射線をあてて治療するため負担が少なく、治療後の生活の質が保たれるなどの利点があります。認知力低下や生活習慣病などを合併している患者さんにも適応できる可能性があり、がん治療の選択肢が広がっています。今回は、放射線治療の礎を築いてきた歴史を紐解き、当院の治療装置や治療内容を紹介します。

1. 放射線治療の歴史について

1895年ドイツの物理学者であるレントゲンがX線を発見して以来、治療装置の開発が進み、放射線治療は飛躍的に向上しています。日本では1921年からX線治療が開始され、現在では複雑な病巣の形態に応じて、ピンポイントにあてられる装置へと進化しています。



参考文献：がん放射線療法ケアガイド 第3版 中山書店

2. 当院の放射線治療装置と治療について

当院は2014年4月よりCTスキャナーと放射線治療システムを統合した『トモセラピー』を導入しています。放射線治療前に毎回CT撮影し、がんの形態に合わせた強度変調放射線治療 (IMRT) も可能です。

病巣にはしっかり放射線をあて、正常な組織にはなるべくあてないよう工夫していますが、放射線の量・目的などにより臓器への影響は異なります。放射線治療の効果は少しずつゆっくりと現れ、治療後1か月程度で治療の効果がわかりますが、その都度医師や看護師から説明がありますので安心して治療が受けられます。

放射線治療についてのご相談は、当院のがん相談支援センターで対応致しております。

公立学校共済組合 九州中央病院 がん相談支援センター 8:30 ~ 17:00 (平日)

電話番号 代表 092-541-4936

登録医の先生ご紹介



しもむら内視鏡クリニック

登録医名 下村 保 先生
住 所 〒815-0033 福岡市南区大橋1-9-16 レンテ福岡ビル4階
電話番号 TEL 092-554-5855 FAX 092-554-5856
H P <https://www.shimomura-clinic.jp/>
診療科 胃腸内視鏡内科・肛門外科・内科・外科(健康診断)
診療日 月～土曜日 9:00～13:00 / 14:30～18:00
 *初診の方は診療終了時間の30分前までにご来院ください

大橋駅すぐ、利便性の良いビルの4階にあるクリニックです。患者様ファーストで早期発見・早期治療を心がけております。病気になる前が大切です、その1助になれるよう健康診断にも力を入れています。兄弟仲良く診察しておりますので、お気軽にいらして下さい。

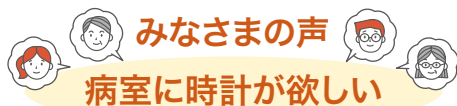
サービス向上委員会からのお知らせ



九州中央病院
きゅうちゅう応援基金

レンタルクロック「時計、お貸しします。」

意見箱「みなさまの声」で病室に時計が欲しいという意見を頂き、寄付金「きゅうちゅう応援基金」を活用し、令和6年1月からレンタル置時計の運用を始めました。入院棟2階ラウンジのコンシェルジュカウンターで貸し出しています。



南警察署からのお知らせ

福岡県南警察署 092-542-0110



国際電話番号による二重電話詐欺が急増中!!

+1 や+44などから始まる番号、たとえば

+1312345678 +44698765432



このような表示の電話には出ない、かけ直さないよう、ご注意ください。

海外との電話が不要な方は、発信・着信を無償で休止できます
今すぐお申し込みを↓↓

お申し込み・お問い合わせはこちらから

国際電話不取扱受付センター 電話番号 **0120-210-364** (通話料無料)
 取扱時間 オペレータ案内: 平日午前9時から午後5時まで
 自動音声案内: 平日、土日祝 24時間



地域連携Webセミナーのお知らせ

登録医療機関、連携する医療施設等を対象とした Web セミナーを開催しております。
ご視聴いただくには、セミナー登録が必要となりますので、地域医療連携室（代表:092-541-4936）までご連絡いただきますようお願いいたします。
セミナー登録いただいた方は過去の配信動画が視聴できます。

12月に配信した講演

地域連携Web疾患セミナー

- 第79回 「生理痛は我慢してはいけません ～子宮内膜症の話～」 講師：婦人科医長 松下 知子
- 第80回 「九州中央病院における肺がん治療について」 講師：がん化学療法科医長 古賀祐一郎

地域連携Web患者ケアセミナー

- 第35回 「糖尿病と食事 ～栄養士の関わりについて～」 講師：主任栄養士 西村ゆかり

1月から2月に配信を予定している講演

- 1月 9日（火）18:30～ 「働く人のメンタルヘルス」 講師：心療内科部長 河田 浩
- 1月16日（火）18:30～ 「人生最終段階における緩和ケア」 講師：緩和ケア認定看護師 大峰 史
- 1月23日（火）18:30～ 「コロナワクチンによる皮膚障害」 講師：皮膚科部長 菊池 智子
- 2月13日（火）18:30～ 「当院における呼吸器外科診療について」 講師：呼吸器外科部長 斉藤 元吉
- 2月20日（火）18:30～ 「病棟薬剤業務と薬業連携」 講師：薬剤師 光安 玲菜
- 2月27日（火）18:30～ 「歯科インプラントについて」 講師：歯科口腔外科部長 佐々木匠理

オンライン九州中央病院 だれでも健康講座

日々の健康を保つコツや最新の医療情報を、ホームページ上でお伝えします！

- 第1回 九州中央病院の管理栄養士が教える **腸内環境を整える食事** 配信中
- 第2回 臨床心理士が教える **こころの健康と睡眠について** 配信中
- 第3回 婦人科ドクターが教える **女性を子宮頸がんから守るために** 配信中
- 第4回 ソーシャルワーカーが教える **かかりつけ医をもちましょう** 配信中
- 第5回 理学療法士が教える **骨と筋肉を強くする** 配信中

第6回 保健師が教える よい生活習慣とよくない生活習慣

2024年2月
配信開始

九州中央病院のホームページでご視聴いただけます。 [だれでも健康講座](#)

<https://kyuchu.jp/>

お問合せ：地域医療連携室 092-541-4936



編集後記

「きなざっせ」は1998年に創刊されほとんど変わることなく続いてきましたが、今号の100号を区切りにし、2024年4月に一新します。名称は、病院職員から「親しみがある」という声が多く上がり「きなざっせ」を継続します。新しい「きなざっせ」は地域の皆様との繋がりを意識して発行していきます。ご期待ください。 広報委員会 佐々木



公立学校共済組合

九州中央病院

Kyushu Central Hospital

九州中央病院広報誌「きなざっせ」第100号

編集：広報委員会 発行：公立学校共済組合 九州中央病院

URL:<https://kyuchu.jp/>

